

(2) 心理学教育における授業モデルの検討

心理学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、9月、12月、23年2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

単に知識を身に付けるのではなく、学生が自ら考え、学ぶ授業の在り方をとりあげることとした。そのため、授業時間外の学習を支援する仕組みとして、ファシリテータの導入、LMSなどによる学習成果の公開と振り返りを行わせる授業デザインを2例とりあげることとした。

一つは、グループによる協働学習を行い、討論の結果を掲示板等に掲げ、他のグループの学びを参考に心理学の基礎を理解させる授業モデルとした。

二つは、学習成果を社会に対してWebサイトで公開し、意見を求め、振り返りする中で、社会への関与を意識させる授業モデルとした。